

すはのくにくがのこほりまの麻里布の浦をゆく時に作る

歌八首

三六三〇番

ま梶貫かぢぬき 舟ふねし行ゆかずは 見みれど飽あかぬ 麻里布まりふ  
の浦うらに 宿やどりせましを

三六三一番

いつしかも 見みむと思おもひし 粟島あはしまを よそにや恋こ  
ひむ 行ゆくよしをなみ

三六三二番

大舟おほぶねに かし振ふり立たてて 浜清はまぎよき 麻里布まりふの浦うらに  
宿やどりかせまし

三六三三番

粟島あはしまの 逢あはじと思おもふ 妹いもにあれや 安眠やすいも寝ねず  
て 我あが恋こひ渡わたる